

自動車関連技術講演会

# ～つながる工場～ 工場内のDX化

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 2024年度特別講演会

2024 **11.15** **FR I** **14:00-16:40**  
懇談会 **16:50-17:50**

## 全体概要

クルマの概念が根本から変わると言われるほどの大変革期を迎えた自動車業界。電動化をはじめとする社会ニーズに迅速に応えるため、様々な「工場内のDX化」が検討されています。

本講演会では、「工場内のDX化」開発の現状と課題について3件の講演をいただきます。トピックとして、「Factory View」や「センサネットワークを活用した製造業務支援」などご紹介いただきます。

▶プログラム詳細は裏面へ

## 開催方法

会場開催（リアル会場）のみ

## 参加費

無料

## 場所

**AP名古屋 8階 B+Cルーム**  
(懇談会：7階Kルーム)

〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅 4-10-25 名駅IMAIビル

[アクセス](https://www.tc-forum.co.jp/ap-nagoya/access/) <https://www.tc-forum.co.jp/ap-nagoya/access/>



## 申込方法

申込フォームから参加登録を行ってください。  
登録後に受付完了のメールが送信されます。

## 申込締切

2024年10月31日(木) ※定員50名、先着順

お申込みはこちら



アクセスができない場合は、下記協会事務局へ E-mail でお問い合わせください。

✉ [M-nagoya-kyoukai-ml@aist.go.jp](mailto:M-nagoya-kyoukai-ml@aist.go.jp)

<https://forms.office.com/r/mK9tNdxgVh>

▶14:00-14:50  
(質疑応答を含む)

講演①

## 「つながる工場モデルラボと製造現場支援CPS研究」

産業技術総合研究所 インダストリアルCPS研究センター つながる工場研究チーム  
チーム長 古川 慈之 氏

本講演では、IoT化された製造現場の模擬環境「つながる工場モデルラボ」で機械の稼働状況や人の活動をデータとして収集する手法と、その環境を活用して製造現場の作業者を支援するサイバーフィジカルシステム (CPS) の研究について紹介します。

▶14:50-15:40  
(質疑応答を含む)

講演②

## 「製造業におけるDX 導入の課題と研究事例

### ～効率的なシステム構築の実現に向けたプロトタイピング手法～

名古屋工業大学 工学専攻 情報工学系プログラム  
准教授 大塚 孝信 氏

情報化社会により、日々の生活を便利にするシステムが多く登場しています。IoTとAI技術の発展により、社会のあらゆるデータが収集され、活用される未来では情報の収集方法や応用が重要です。近年では、デジタルツインやデジタルトランスフォーメーションの活用が求められていますが、全ての課題を解決できるわけではありません。特にデジタル化だけを前提とするのではなく、新しい価値を創造することが重要です。本講演では、IoT、AI技術を用いてどんなことができるのか、新しい価値想像に必要な技術を最新の研究事例とともに、製造業におけるDX化のポイントと実際に課題を解決するためのプロトタイピングの手法を紹介します。

▶15:40-15:50

休憩

▶15:50-16:40  
(質疑応答を含む)

講演③

## 「工場まるごとデジタル化～NavVis IVION運用のご紹介～」

株式会社アイシン 生産技術本部 ものづくり革新部 システム開発室 デジタル生準開発グループ  
主任 坂井 亮太 氏

国内19工場全ての生産スペースのデジタル計測を完了し、Factory Viewの名称で社内公開している(株)アイシンでのNavVis IVION導入や運用の経緯、現在の状況、活用事例と運用効果についてご紹介させていただきます。

▶16:50-17:50

懇談会

(立食形式のフリーディスカッション)



お問い合わせ

産総研コンソーシアム名古屋工業技術協会 事務局

〒463-8560 名古屋市守山区桜坂四丁目205番地

国立研究開発法人産業技術総合研究所 中部センター産学官連携推進室内

☎ 052-736-7370

✉ M-nagoya-kyoukai-ml@aist.go.jp